

## ブルーカットコート / ティービーシー 機能コーティング

# Blue Cut Coat

青い光は眩しさ・チラツキの原因  
現代のライフスタイルに合わせた  
高機能コーティング

現代社会には。眩しさの原因と言われる「青色光」が溢れています。

パソコンや携帯電話、テレビはもちろん、ポータブルメディアプレーヤーやスマートフォン、携帯ゲーム機にいたるまで現代社会に浸透する多くのデジタル機器のモニター画面からは、眩しさやチラツキの原因と言われる「青色光」が発せられています。これらのデジタル機器を長時間使用することにより、眼に負担を感じると訴える人が急激に増大しています。

デジタル機器囲まれた現代の生活では、室内でも眩しさに対するケアは必要で、カラー付きメガネを使用すれば緩和されますが、職場での使用時などレンズに色を付けることに抵抗のある方もみえます。

そこで、カラーではなくコーティングの技術によって眩しさやチラツキといった眼の負担を軽減する技術を開発いたしました。現代のライフスタイルとニーズに合った高機能コーティングです。



- 室内でも蛍光灯などの光をまぶしく感じる
- テレビやパソコン、携帯電話の画面が眩しく文字が見えにくい
- メガネの度数は合っているのに、室外で標識などがボヤけて見える
- 新聞や雑誌などの細かい文字の輪郭がくっきり見えない
- 以前より眩しさを感じ眼からくる疲れを感じやすい

1つでも  があったら

**ブルーカットコートがおすすめです**



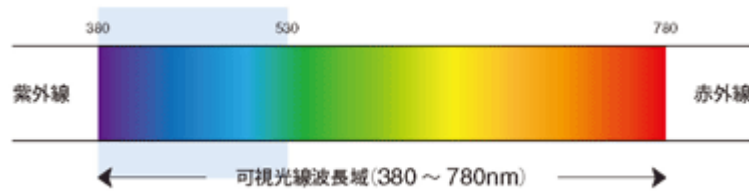
**デジタル機器の「青色光」が眼の負担を増大します。**

光は波長が短いほどエネルギーが強く、紫外線など短い波長の光は眼の健康に影響を及ぼします。

01

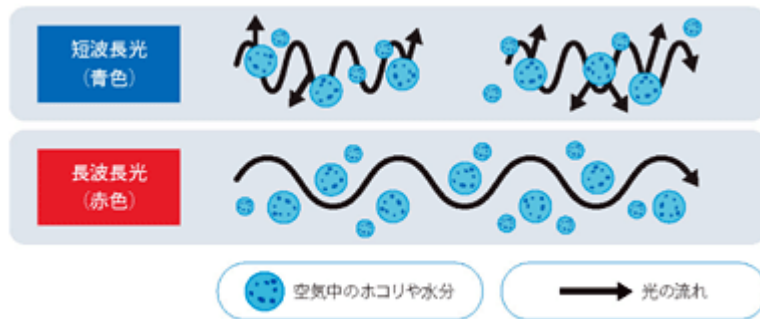
エネルギーが強い「青色光」

「青色光」は、可視光線の高周波側の光で、380nm から 530nm の紫から青色の短波長光を指します。紫外線に近い波長のため、エネルギーが強く眼の負担が心配されます。



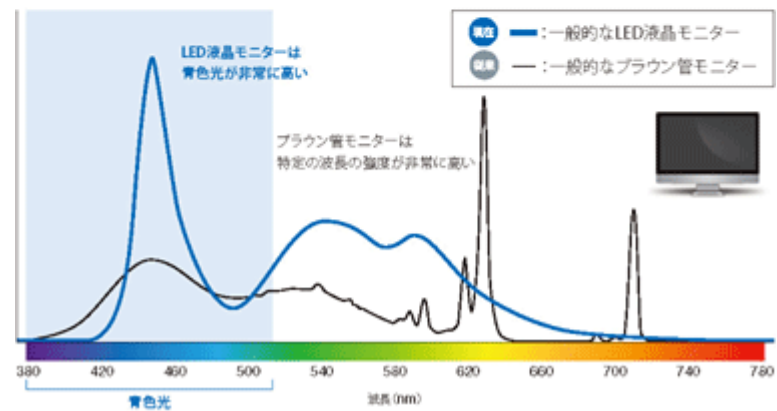
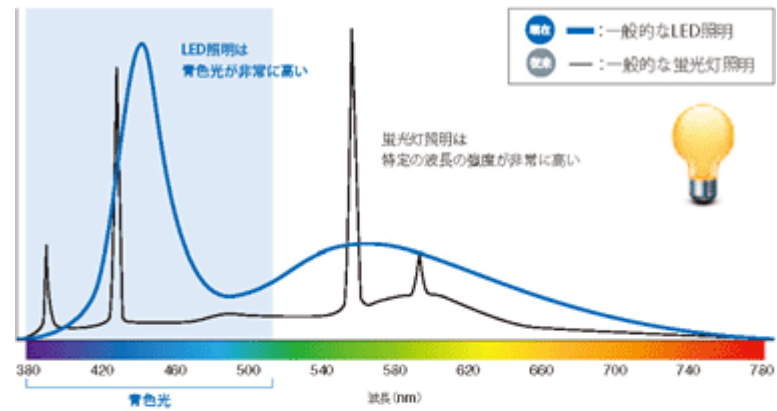
## 02 散乱しやすい「青色光」

短い波長の「青色光」は、大気中の粒子(ホコリや水分)などにぶつかりやすく散乱しやすい光です。この散乱しやすい「青色光」がまぶしさやチラツキを与えて像の輪郭を不鮮明にしてしまいます。



## 03 日常生活に溢れる「青色光」

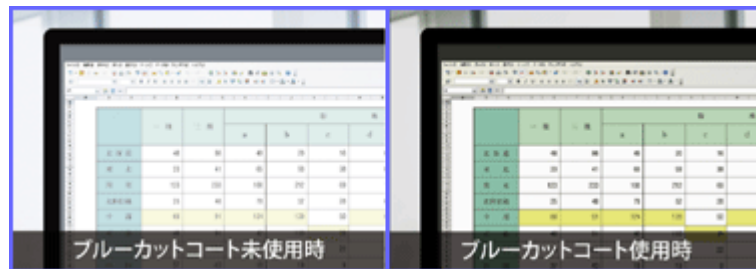
私たちの日常では、テレビやパソコンのモニター画面からLED照明まで、生活は明るい光に包まれています。こうした光の多くは、明るさを強調するために「青色光」を強く発光させています。



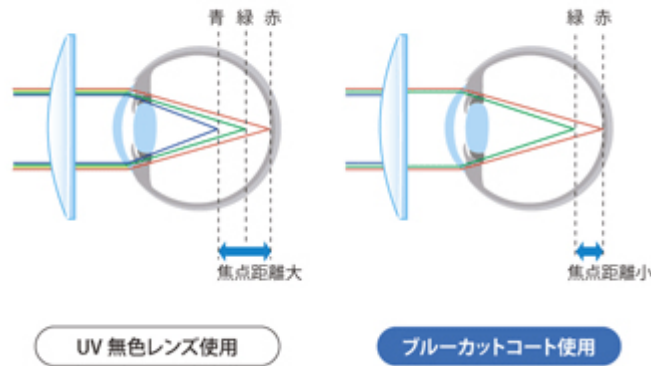
ブルーカットコートがサポートする快適視生活の提案。

高機能コーティング「ブルーカットコート」、屋外の強い日差しはもちろんパソコンや携帯電話、テレビやLED照明など現代の生活で感じるまぶしさやチラツキの原因といわれる「青色光」を効果的にカットして大切な眼を守ります。

また、「青色光」を取り除き明るさを確保することで、快適な視界を維持できます。「ブルーカットコート」は、従来のレンズにはない新しい価値を創造する高機能コーティングです。

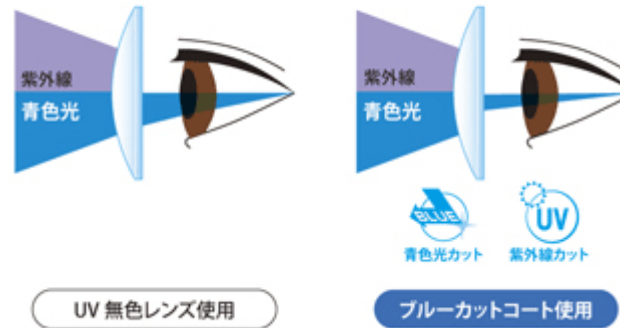


## 青色光によるボヤケの発生



光は波長により焦点距離が変わります。赤色が網膜上に焦点を結ぶとき、可視光線の中で最も短い波長を持つ青色光は、硬膜の手前で焦点を合わせてしまうためボヤケがおきます。青色光をカットすることで焦点距離の差が小さくなり、物が見やすくなります。

UVカットレンズでは 青色光を効果的にカット  
防げない



紫外線のカットはもちろん、眼に対する負担が懸念される青色光を効果的にカットします。

※素材やコーティングにより分光特性が変化することがあります。

※効果は個人により異なるため適応しない場合があります。